

令和3年度 本牧和田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地区社協やまちづくりの会、単位町内会毎に行われていた活動がコロナ禍によりほとんど止まってしまった。コロナ禍以前よりも地域の繋がりや介護予防、高齢者の孤立防止等の重要性の意識が高まってきているため、この危機をきっかけとしてケアプラザからの情報提供に地域情報の発信も積極的に含めていく。既存の事業を見直し、地区社協や民生委員はもちろん他施設、他機関とも連携協力し、新たな担い手発掘に繋げていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【情報収集・集約】地域の関係機関や住民等から地域情報のほか、職員が参加した研修や区の事業や会議等から得られる情報も併せて収集する。その情報を職員のみならず、地域の人や専門職等が活用できるように集約していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【情報発信】集約した情報の活用について、町内会やケアプラザ利用者等に聞き取り等を実施し、効果的な方法を検討する。その時代に合った情報発信の方法も取り入れる。またWi-Fi環境などについては、使い方も含めて周知していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【情報の共有と地域課題の共有】新たな担当職員が、それぞれ専門職としての視点から地域アセスメントを行っていく。区役所、区社協と地域課題を共有し、連携した支援を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【地域の繋がりづくり】新型コロナウイルス感染症の為、今まで地域で行っていた集まりや学校関係の事業、ボランティアの活動等がストップしている。今年度は、感染症の状況を確認しながら、新しい形での「再開」を支援する。また、新型コロナウイルス感染症により地域のニーズが変化している可能性があるため、ニーズに合わせた形も検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【個別ケース支援の強化】虐待や貧困、認知症、ダブルケア、8050問題等、高齢者等を取り巻く様々な課題に対応できるよう努め、地域包括支援センター職員のみならず多職種が連携しそれぞれの専門性を生かした支援を行う体制を構築する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

職員体制の変更がありました。地域行事や茶話会、定例会などに積極的に出向く他、月一度のサロン、「Wa! サロンDaj」をはじめとする自主事業を通じて、情報収集と情報発信を行うことができました。その結果、民生委員、ケアマネジャーからの相談も徐々に増え、ケアプラザ主催の事業参加者も増加しました。ケアプラザ主催事業は、「Wa! 輪=ネットワーク」構築を意識し、エリア内の福祉用具事業所や企業、国際交流ラウンジ等の協力を得て、開催することができました。コロナ禍により中断している小中学校との連携について、これまでの世代間交流だけでなく新たな連携の形を検討していきます。事業実施を通じ、本牧・根岸地区の第4期地域福祉保健計画の発信、高齢者を取り巻く課題の発信に努めます。

区からのコメント

【福祉保健課】
新体制でのスタートで難しい状況もあったかと思いますが、地域の住民や関係団体、事業所等に丁寧に対応していただいております。また、自主事業も今後の地域展開を見据え、地域関係者と連携して取り組んでいただいております。コロナ禍で休止していた地域活動をどのように再開していくのか、住民のニーズを汲み取り、ご支援していただくことを期待しています。

【高齢・障害支援課】
認知症の普及啓発や相談、介護予防の取組み、権利擁護の取組みなどを、地域住民からの相談等を起点に進めてまいりました。地域住民や民生委員との関係を築くとともに、医療機関と介護事業所等の連携体制の構築に取り組んでいただいております。今後、質の高いケアマネジメントのために、地域のインフォーマルな資源の情報を地域の関係者と共有を進めてください。地域包括ケアシステムの構築をすすめていくにあたり、引き続き区との密な連携・協力をお願いします。

令和3年度横浜市本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。 ・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に事故防止、個人情報保護に関する研修を行います。 ・事故及びヒヤリハットについて、速やかに職員に共有し、事故の再発防止に努めます。
実績	職員会議及び個別の面談で研修を実施、サービス事業所の紹介にあたっては複数の資料を用いることで対応を行った。	職員会議及び個別の面談で研修を実施、個人情報保護、安全管理マニュアルを用いた研修を行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が介護予防についての目的や目標を理解し、その目標達成のために必要なサービスや手段を活用して、目標達成に取り組めるような計画を作成し実行することができる。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できる。
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)1名、 社会福祉士1名、 看護師1名	主任介護支援専門員(管理者兼務)1名 主任介護支援専門員1名 介護支援専門員1名
契約者数	128名	73名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30～15:30 【定員】 35人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	利用料は介護保険法の規程により定められた、通所介護事業、指定第1号通所介護事業のサービスに係る費用の額 実費は食事代として700円		
職員体制	管理者1名・生活相談員3名 介護職員12名 看護師兼機能訓練指導員4名		
契約者数等	【延べ利用者数】 5,057名 【契約者数】 67名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,202,701	206,410	15,409,111	15,409,111	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0	57,500	△ 57,500	
雑入	0	0	0	111,310	△ 111,310	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0	111,310	△ 111,310	
その他	3,745,799		3,745,799		3,745,799	
収入合計	18,948,500	206,410	19,154,910	15,577,921	3,576,989	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,960,000	0	11,960,000	10,656,516	1,303,484	
本俸	9,853,000		9,853,000	7,055,460	2,797,540	
社会保険料	951,000		951,000	845,882	105,118	
手当計	960,000		960,000	2,583,930	△ 1,623,930	
健康診断費	81,000		81,000	41,269	39,731	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	115,000		115,000	115,275	△ 275	
その他	0		0	14,700	△ 14,700	
事務費	1,700,000	0	1,700,000	1,310,539	389,461	
旅費	20,000		20,000	449	19,551	
消耗品費	865,000		865,000	351,930	513,070	
会議賄い費	0		0	10,512	△ 10,512	
印刷製本費	200,000		200,000	15,262	184,738	
通信費	350,000		350,000	300,141	49,859	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	95,000		95,000	35,200	59,800	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	6,285	△ 6,285	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	0		0	1,614	△ 1,614	
リース料	120,000		120,000	0	120,000	
手数料	30,000		30,000	5,500	24,500	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	583,646	△ 583,646	
事業費	400,000	0	400,000	232,267	167,733	
運営協議会経費	0		0	0	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000	232,267	167,733	
その他			0		0	
管理費	4,414,500	0	4,414,500	3,561,375	853,125	
光熱水費	2,565,000		2,565,000	2,542,833	22,167	
清掃費	408,723		408,723	205,364	203,359	
機械警備費	70,077		70,077	113,874	△ 43,797	
設備保全費	436,517	0	436,517	561,098	△ 124,581	
空調衛生設備保守	58,397		58,397	58,397	0	
消防設備保守	55,964		55,964	55,964	0	
電気設備保守	169,351		169,351	216,069	△ 46,718	
害虫駆除清掃保守	55,477		55,477	55,477	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	97,328		97,328	175,191	△ 77,863	
共益費	934,183		934,183	138,206	795,977	
その他	0		0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	407,424	66,576	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0	206,410	△ 206,410	
支出合計	18,948,500	0	18,948,500	16,374,531	2,573,969	
差引	0	206,410	206,410	△ 796,610	1,003,020	

自主事業費 収入	0	0	0	57,500	△ 57,500	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	232,267	167,733	
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	△ 174,767	△ 225,233	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,664,000		23,664,000	23,664,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	1,800	△ 1,800	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		1,044,000	17,400	1,026,600	
雑入	0	0	0	30,500	△ 30,500	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0	30,500	△ 30,500	
その他	1,044,000		1,044,000		1,044,000	
収入合計	30,664,000	0	30,664,000	29,669,700	994,300	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,390,000	0	27,390,000	26,139,118	1,250,882	
本俸 27,390,000	12,531,000		12,531,000	13,725,000	△ 1,194,000	
社会保険料	3,610,000		3,610,000	3,145,077	464,923	
手当計	10,739,000		10,739,000	8,749,757	1,989,243	
健康診断費	60,000		60,000	32,739	27,261	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000	438,045	11,955	
その他	0		0	48,500	△ 48,500	
事務費 1,006,000	1,006,000	0	1,006,000	1,203,136	△ 197,136	
旅費	15,000		15,000	2,447	12,553	
消耗品費	460,000		460,000	180,750	279,250	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	70,000		70,000	11,395	58,605	
通信費	272,000		272,000	219,497	52,503	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	110,000		110,000	0	110,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	6,284	3,716	
職員等研修費	20,000		20,000	42,700	△ 22,700	
振込手数料	0		0	568	△ 568	
リース料	35,000		35,000	0	35,000	
手数料	14,000		14,000	0	14,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	739,495	△ 739,495	
事業費	969,000	0	969,000	797,229	171,771	
協力医	630,000		630,000	567,000	63,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	45,000		45,000	8,612	36,388	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	155,800	△ 1,800	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	140,000		140,000	65,817	74,183	予算：指定額
その他	0		0	0	0	
管理費	1,173,000	0	1,173,000	946,688	226,312	
光熱水費	682,000		682,000	675,942	6,058	
清掃費	110,400		110,400	54,588	55,812	
機械警備費	30,000		30,000	30,270	△ 270	
設備保全費	350,600	0	350,600	149,150	201,450	
空調衛生設備保守	16,000		16,000	15,523	477	
消防設備保守	14,000		14,000	14,876	△ 876	
電気設備保守	45,000		45,000	57,435	△ 12,435	
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000	14,747	253	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	260,600		260,600	46,569	214,031	
共益費	0		0	36,738	△ 36,738	
その他	0		0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	108,300	17,700	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	30,664,000	0	30,664,000	29,194,471	1,469,529	
差引	0	0	0	475,229	△ 475,229	

自主事業費 収入	0	0	0	19,200	△ 19,200	
自主事業費 支出	339,000	0	339,000	230,229	108,771	
自主事業 収支	△ 339,000	0	△ 339,000	△ 211,029	△ 127,971	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:本牧和田地域ケアプラザ

R3年4月1日~R4年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	2,875	3,954	-1,079	2,875	4,046	-1,171	12,841	13,343	-502	51,749	38,745	13,004	3,107	1,941	1,166
その他	0	0	0	0	0	0	179	141	38	25,567	48,336	-22,769	661	627	34
事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0		0	9,750	10,047	-297	661	627	34
受託事業収入	0	0	0	0	0	0	179	31	148	0	0	0	0	0	0
施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,587	3,587	0	0	0	0
利用者等外給食費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182	-182	0	0	0
補助金事業収入	0	0	0	0	0	0	0	20	-20	0	3,022	-3,022	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	90	-90	12,230	31,498	-19,268	0	0	0
収入合計(A)	2,875	3,954	-1,079	2,875	4,046	-1,171	13,020	13,484	-464	77,316	87,081	-9,765	3,768	2,568	1,200
支出															
人件費	0	0	0			0	16,161	12,296	3,865	43,452	47,610	-4,158	0	0	0
事務費	0	0	0			0	1,169	913	256	5,914	8,365	-2,451	0	0	0
事業費	0	0	0			0	100	149	-49	6,196	5,034	1,162	0	0	0
管理費	0	0	0			0	0	251	-251	11,035	10,954	81	0	0	0
その他	2,024	3,022	-998	2,024	3,080	-1,056	2,015	2,118	-103	6,391	9,751	-3,360	0	0	0
施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防プラン委託料	2,024	3,022	-998	2,024	3,080	-1,056	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産(PC・ケアカルテ)	0	0	0	0	0	0	2,015	2,118	-103	2,804	3,424	-620	0	0	0
利用者等外給食費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182	-182	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,558	-2,558	0	0	0
支出合計(B)	2,024	3,022	-998	2,024	3,080	-1,056	19,445	15,727	3,718	72,988	81,714	-8,726	0	0	0
収支 (A)-(B)	851	932	-81	851	966	-115	-6,425	-2,243	-4,182	4,328	5,367	-1,039	3,768	2,568	1,200

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症予防 学習・交流サロン「なごみ」	H22	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	音読、計算等を行う学習時間と参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	1: 高齢者	5: 地域	音読・計算等を行う学習プログラム ・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流・情報交換 ・健康な生活を送るための情報提供	12	145
2	子育てサロン	H17	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	4: 子ども・青少年	3: 養育者及び乳幼児	子育て中の親子で集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携して運営する。 通年: 毎月第3木曜日	10	158
3	Wa! サロンDa	R3	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	子どもから高齢者まで世代関係なく、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動を支援する。	5: 地域	6: 事業者	5職種共催で行う、「誰もが立ち寄れるサロン」として開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、講話等を行うこともある。 通年: 毎月第3水曜日 13:30から15:00	10	243
4	Go Go健康! 介護予防講座 介護予防普及強化 業務委託事業	H18	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防の普及啓発。体力づくりや口腔、栄養などの講座を行うことで、出来るだけ要介護状態にならないことや住慣れた地域で生活が継続できることを目指す。	1: 高齢者		①本牧和田CP: 年間23回 13:30~15:00 ②圏域内の町内会館等5ヶ所 全15回	29	512
5	介護者のつどい	H26	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者等の介護者を対象に、日頃の介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者と交流することで在宅介護の継続を目指す。	1: 高齢者	6: 事業者	①介護者が在宅介護についての悩み等を話合う。情報交換 ②医療や介護の専門職等が介護に役立つような講義や助言を行う。 ③介護者が精神的にリラックスできるような講座の実施 ④その他 ★年2回程度 本牧和田CPIにて実施	4	11

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
6	認知症サポーター養成講座	H25	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた地域で安心してその人らしく生活するために、地域住民等に向けて認知症の正しい知識と対応方法等を理解してもらう。	5:地域	6:事業者	①地域のキャラバンメイトと協力し養成講座を実施。 ②地域の団体等や小中学校等に向けて、講座開催の案内をする。 ③サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供 ④その他必要な活動	0	0
7	地域ケア会議	H26	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活することができるような仕組みを作るため、地域ネットワークの構築強化	1:高齢者	5:地域	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2回程度) ②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する(年1回程度)	1	10
8	ボランティア活動支援	H20	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域でボランティア活動をする人、また活動したい人を支援する。また受け入れ団体と結び付けることで、地域づくりに繋げる	5:地域		新規ボランティアの募集と登録。受入希望団体等のリスト作成。受入先とのコーディネート	1	2
9	本牧中学校「ボランティアの会」活動支援	H23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生がボランティア活動を通じて、地域で誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ機会作り。また自分たちが出来ることを実践する機会を提供する。	4:子ども・青少年		本牧中学校ボランティアの会への参加ボランティア活動への参加の呼びかけボランティア活動の場の調整と提供。活動時の支援等。	0	0
10	中学校・高等学校実習受け入れ(福祉体験学習)(職業体験学習)	H21	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉施設での職業体験を通して、誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを知る。自身で支援出来ることを見つけて実践しようとする気持ちを育てる。福祉施設を利用しようとする人の思いや願を理解する。	4:子ども・青少年		施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。 車椅子体験やデイサービスでの話し相手等の福祉体験学習を実施する。	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	世代間交流会	H18	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	世代を越えた交流を通じ、地域で支え合い、挨拶や見守り等をし合える関係が構築できる。	1:高齢者	4:子ども・青少年	①本牧中学校ボランティアの会と間門荒井の老人会(間門さくら会)との交流会(合唱発表やレクリエーション)を実施。 ②小学校の放課後居場所事業「放課後キッズクラブ」と連携し児童と高齢者等、異世代が関わることができる場を実施する	0	0
12	振込め詐欺被害防止に向けた啓発活動 *山手警察署ボランティアと連携	H25	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	振込め詐欺の被害を防止する。地域での支え合い、地域福祉活動を始めるきっかけ作り	5:地域	7:その他	年金支給日に合わせ、郵便局・信用金庫等の前で振込め詐欺への注意喚起のリーフレット配布や声掛けをボランティアと一緒に。8月15日に実施予定。	0	0
13	・本牧・根岸地区社協 一人暮らし高齢者食事会 ・本牧三之谷茶話会 ・元町南部食事会 ・大里カフェ ・室橋カフェ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方との顔の見える関係づくり。また、地域の方との連携強化推進。合わせてケアプラザ事業や地域包括支援センターの周知	1:高齢者	5:地域	地域の活動や行事へ参加すること等を通して福祉・保健等の情報提供や周知を行う。また個別相談等へ繋がる機会を提供する。	2	21
14	広報誌「本牧和田地域ケアプラザ通信」 ホームページ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動等を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進につながることを目的としている。	5:地域		地域の活動や健康づくり、仲間づくり等の情報、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動等を掲載する。自主事業の予定をカレンダー形式で情報提供する。町内会自治会への配布、圏域内の小中学校や障害者福祉施設、介護保険事業所等への配布をしている。	4	4
15	情報発信「地域活動サービスリスト」	H27	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	エリア内の介護保険事業所や民生委員に向けて発行し、孤立しがちな高齢者等が地域との繋がりから支え合い活動を促進させる。	5:地域		区民活動施設の活動情報やその他必要な地域の情報を掲載し、定期的に更新と発信を行う。	59	59
16	「ほんもくケセラセラ」と楽しく歌いましょう!	H30	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽や運動を通じた身体の活性化や仲間づくりを目的としている。	5:地域		唱歌や懐メロをみんなで歌ったり、脳トレと運動を組み合わせた「コグニサイズ」を行う	10	95

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	英語でおはなしする会	R3	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	初心者向けの英語を学びながら。参加者同士の交流も図ることを目的としている。	5:地域		①アクティビティ ②英会話 ③英語の歌 を取り扱いながら楽しく英語を学ぶ。	6	76
18	打楽器コンサート	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもたちに生の音楽に触れる楽しさを知ってもらい、五感を刺激することで発達の促進も期待できる。また、親子の情報交換や交流も目的としている。	3:養育者及び乳幼児		①本格打楽器コンサートの鑑賞 ②手作り楽器でコンサートに参加 ③楽器に触れる体験	2	40
19	味噌づくり講座	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	味噌づくり体験を通じた参加者同士の地域交流や、食の学びを目的とする。	5:地域		講師の指導のもと味噌づくり体験を行う	1	19
20	しめ縄づくり	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	友人同士や親子で参加される方もいたが、同じテーブルに居合わせた参加者同士での共同作業を通じた交流。ケアプラザの周知、また歴史講話を含めることによる男性の方の参加に期待も込めている。	5:地域		①しめ縄作り ②本牧の歴史講話	1	32
21	スマホ講座	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	スマホの基本操作から学べる場を作り、いずれは情報弱者とならないようインターネットやSNSの活用、また趣味や生き甲斐作りなど日常生活に取り入れることを目標に支援していく。	1:高齢者		年に1回、初級と中級編をそれぞれ複数回に分けて実施 初級:地図の操作・電話の基本・メッセージ入力・カメラやビデオの撮り方・音声検索 中級:地図の操作・LINE・翻訳アプリ・QRコードの読み取り	4	75

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
22	勾玉づくり	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・春休みに実施をし小学生にケアプラザへ来てもらうことで今後の交流の足掛かりとする。 ・幅広い年齢層が楽しめる勾玉づくりを体験することで、世代間の交流を図る。 ・全世代の人たちがケアプラザの活動に参加できる機会を確保する。	5:地域		八聖殿郷土資料館館長との共催事業。 ・館長より勾玉の起源、由来のお話 ・勾玉づくり	1	22
23	小児救急講座	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・ケガの予防対策や救急車を呼ぶタイミングを知り、もしもの時に備える。 ・地域の救急の現状を知り、事故を防ぐ注意喚起につなげる。	3:養育者及び乳幼児		ケガの予防対策の講話 人形を用いた心肺蘇生法の練習	1	12